

## 春木先生を偲ぶ会

わが国のサイコネフロロジーの先駆者である春木繁一先生は本学会の発展に尽力され、2014年に逝去されました。本学会が産声を上げたのは1990年7月5日、太田和夫先生の強い希望により、春木繁一先生が構想を練り、数名のサポートメンバーによって、日本における最初のサイコネフロロジー研究会（サイコ・ネフロロジー カンファレンス横浜）が開催されました。その後、第2回、第6回大会を春木繁一先生が主催されました。それから四半世紀、日本サイコネフロロジー研究会は日本サイコネフロロジー学会となり、第32回大会が春木先生の生まれ故郷である島根県に帰ってきました（島根大学が主催します）。

本大会のテーマを『原点回帰』にした大きな理由が、春木先生の故郷＝原点に帰ってくるということでしたので、「春木先生を偲ぶ会」を開催させていただくことにしました。司会には日本サイコネフロロジー学会の西村勝治理事長と伊藤孝史大会長が務め、春木記念賞の受賞者である平賀聖悟先生（2018年度）、竹澤真吾先生（2018年度）、宍戸洋先生（2020年度）の3名の先生に春木先生との思い出などを語っていただき、奥様の春木宥子先生にコメントを頂くことにしております。

是非ともみなさんと一緒にサイコネフロロジーの原点に回帰したいと思います。

## 春木 繁一（はるきしげかず）先生

### [略歴]

1940年 島根県生まれ  
1967年 横浜市立大学医学部卒業  
1968年 横浜市立大学医学部精神科学教室  
1973年 横浜家庭裁判所医務室技官（精神科担当）  
1980年 島根医科大学（現 島根大学）精神医学教室  
1988年 松江青葉クリニック 院長  
東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 客員教授  
横浜市立大学医学部 非常勤講師  
島根大学医学部 非常勤講師  
国際サイコネフロロジー学会評議員・プログラム委員  
日本移植学会評議員  
日本サイコネフロロジー研究会世話人 などを歴任  
2014年7月26日 ご逝去（享年73歳）

### [主な著書]

「透析患者の診かた考え方」（共著 南江堂 1979）  
「透析患者の心理と精神症状」（中外医学社 1982）

- 「よくわかる透析療法ハンドブック」(共著 メディカ出版 1989)
- 「透析、腎移植の精神医学」(中外医学社 1990)
- 「透析患者と生きる」(編著 日本メディカルセンター 1995)
- 「コーディネーターのための臓器移植概説」(共著中外医学社 1997)
- 「精神医学講座 10. 器質・症状精神障害」(共著 中山書店 1997)
- 「透析患者の心とケアーサイコネフロロジーの経験から」(正編・続編)(メディカ出版 1999)
- 「サイコネフロロジーの過去・現在・未来」(共著 ライフサイエンス 2001)
- 「腎移植をめぐる母と子、父」(日本医学館 2003)
- 「透析とともに生きる 腎不全からの再生 精神科医自らを語る」(メディカ出版 2005)
- 「腎移植をめぐる兄弟姉妹」(日本医学館 2008)
- 「サイコネフロロジーの臨床」(メディカ出版 2010)
- 「透析とともに生きる 人生を変えた腎不全 精神科医 仕事と家族を語る」  
(メディカ出版 2013)